

葛生さん(NPOスタッフ) スペイン旅行記 2019年10月

風光明輝で世界遺産のスペイン!!

おすすめは、①バルセロナ:ガウディ建築のサグラダファミリア

…完成までに300年以上要すると言われていたが、ガウディ没後100年に当たる2026年に完成予定

②ガウディのグエル公園

③古都トレド…街全体が世界遺産、中世ヨーロッパの情緒を感じる街並み

④白い村 …ミハス 見どころがたくさん。ぜひ皆さまもお出かけください。①



②



③



④

特定非営利活動法人東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター入会のご案内

会員数 91 (正会員 80 団体会員 3 賛助会員 8) 2019年11月末日現在

～会員になって、東京YWCAヒューマンサービスサポートセンターを支えてください。～

会員特典: NPO主催の講習会費の割引、講師派遣研修費の割引等があります。入会申し込みは事務局まで。

会費・寄付金等振込先

年会費: 正会員 3,000円/年 賛助会員 一口 10,000円/年 団体会員 20,000円/年

◆株式会社 ゆうちょ銀行 記号 10170 番号 80995501

◆三菱UFJ銀行 神田支店 口座番号 普通預金0138637

口座名義

特定非営利活動法人 東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

発行所 特定非営利活動法人 東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

発行人 石井須美子 編集人 長尾恵理子 蛭原まゆみ 大庭幸 パステル画(表紙・挿絵) 宮永順子

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目8番11号 東京YWCA会館216室

TEL・FAX 03-6273-7134

E-Mail: info@ywca-hssc.jp ホームページ: <http://ywca-hssc.jp/> 東京YWCA hssc で検索

2019年12月25日 クリスマス休暇 2019年12月27日～2020年1月3日 冬季休暇をいただきます。



特定非営利活動法人
東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

会報

見守り

支え

伝え合う



私たちは、福祉・介護の仕事のゆたかさを広げる活動を推進します



故宮永順子先生作品
クリスマスツリー

19号
2019年12月

第25回理事会報告 P2

1日で学ぶ園長・主任・事務長のためのマネジメント講習会 P3

社会福祉施設(横浜共生会)見学ツアー P4

福祉のしゃべり場 P5

東京YWCA専門学校同窓会 ケアワーク部会 P6

東京YWCA専門学校同窓会 マロニエ会 P7

さろん ど わい わい
Salon de Y Y P8



◆◆◆第25回理事会を開催しました◆◆◆

特定非営利活動法人東京YWCAヒューマンビズネスセンター理事長 田島 誠一



11月5日(火)理事7名中6名、監事2名が出席し、今年度上半期の事業の実施状況及び予算の執行状況について事務局から報告を受け議論しました。

法人全体としては計画に比べて厳しい状況で推移しています。主な点は次の通りです。

・保育士等キャリアアップ研修

今年度14回の開催を計画し10月までに9回の研修が終了しました。

認知度も進み、受付開始後すぐ定員に達するといった状況で、講義内容についても高い評価を得ています。

外的要因(台風等)の影響もなく、順調に進めています。

・講師派遣事業

計画どおりの研修が実施できていません。予算も未達となりそうです。

新規研修先開拓のため理事長・事務長で法人訪問等を取り組んでいましたが、人材確保難の中では研修が実施できないという反応が多いです。

このような時だからこそ人事育成に力を入れるべきと考え、厳しい状況であっても研修をつづけようという施設を応援しつつ、新規の研修確保のため引き続き努力が必要です。

・1日で学ぶ園長・主任・事務長のためのマネジメント講習会

開催時期に無理があったためか12名の参加と低調でした。

・福祉啓発事業 福祉のしゃべり場

年間3回の予定で、7月、10月に実施しました。

現場で働く人たちの交流の機会を今後も継続していきます。会員、専門学校卒業生、その他多くの皆さんの参加をお待ちしています。次回は2月開催予定です。

・広報 会報 7月に18号を発行しました。HPの改訂、パンフレット・チラシの作成を実施しました。

・上半期の予算執行状況

講師派遣収入の減少がありますが、経費を削減し、年度見込みでは収支均衡となる予想です。

議論の中では、福祉現場では、人が流動しすぎているが、研修をしているところは落ち着いているといえる。

職員が研究会で発表できるようなサポートとか、ロボットの使い方やデータの解析方法など、あたらしい方向も検討できるのではないか。

小規模な施設が連携して取り組む研修を提案していく。などの意見が出ました。

また、保育士等キャリアアップ研修が終了する3年後からの事業展開をどうしていくかについて、早期に考えていかなければならない、という意見が出ました。大きな課題と考えます。

法人のメインの事業である講師派遣研修は、人権尊重に基づく援助者を育成することを目指して、研修法人・施設とよく話し合っ

てオーダーメイドで作っています。会員の皆さんからのご紹介を頂ければ説明に行きますのでよろしくお願ひいたします。

東京YWCA 専門学校社会福祉科ジュニア・シニアコース同窓会マロニエ会

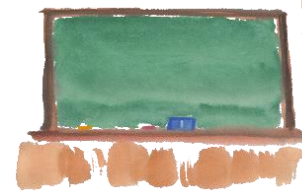
2019年11月2日(土)開催 東京YWCA 会館カフマンホール



88名の卒業生が参加し、佐々木浩子先生の「ミニ授業」が行われました。



授業では、福祉教育の基盤となる「人権の尊重」をいかに学び、身に着けるかという課題に対してYWCAが取り組んできた人間教育、「現場実習の大切さ」と「実習指導方法」について、熱く語られました。グループワーク、スーパービジョン・記録による指導が、意図的におこなわれていたことを改めて聞きながら、学生時代の自分たちを思い返した時間でした。同窓生との話は尽きず、久しぶりに、「学校」が蘇りました。



「鉄は鉄によって研磨する。人はその友によって研磨される」

「若者を行く道にふさわしく教育せよ。そうすればそこから離れない」



1971年～2004年 困難な時にも笑顔を絶やさず、福祉教育に全身全霊でご尽力された佐々木浩子先生。林崎光子先生と。😊



ハンドベル体験。呼吸を合わせて。🎵

同窓会では、ハンドベル演奏体験など行った後、宮永順子先生を偲ぶ時間が持たれました。



宮永 順子先生を偲ぶ会 によせて

マロニエ会開催時、先生への感謝のところで黙祷をし、讃美歌「いつくしみ深き」を歌い、「先生を偲ぶ時」が持たれました。



2019年9月5日(木)闘病の末、天に召されました。

実習指導教員として福祉の現場から離れず、学生の一人一人を福祉専門職として人間としての成長を見守りつつ指導をされた宮永順子先生。優しい笑顔とともに、ピリッと辛く、よく効く助言をされた姿が思い出されます。多くの学生から慕われました。(蛸原 まゆみ)

当法人の講師としては、児童福祉分野の施設の研修を担当してくださいました。中堅研修を受ける職員が、自施設や己の課題に取り組み、報告会までの期間指導していただきました。研修を受ける職員を支え、導く様子は実習指導のように細やかに職員からの信頼を得て、先生も楽しんでおられた姿が思い浮かびます。

先生のお力をいただきましたことを、心から感謝申し上げます。

(石井 須美子)

東京YWCA 専門学校社会福祉科同窓会 ケアワーク部会

2019年10月26日(土)開催 東京YWCA 会館カフマンホール

講習会 テーマ「笑顔のコミュニケーション、マナー研修」が開催されました。

幹事より「コミュニケーション」に関する講習会を実施したいとの相談を頂き、当法人の講師・卒業生でもある徳森敬子氏を紹介しました。

接遇・マナーは、「あなたを大切に思います」を表現することであることを学びました。

怒りが湧く理由、自分が感じる怒りへの対処の仕方（アンガーマネジメント）、自分や相手を責めたり咎めて解決するのではない「アサーティブ」なコミュニケーションなど、ロールプレイを通して体感し気づきを得られました。

参加者11名でした。

自分の自己表現の仕方・態度を変えることで、相手の気持ちに寄り添ったり、引き出したりできることを学びました。



徳森さん

幹事：荒木・生野・鍋田

自分の笑顔が、かわる人や職場の笑顔を引き出す！
良い職場にしてゆけるように明日からまた頑張ります！

久しぶりに、ワークもあり楽しかった♡また参加したいです。

怒りのピークは6秒。6秒待って『S・T・A』(stop think action)しばらく腕に書いて貼ってことばを見ながら仕事をしようかと思いました。(笑)



講習会後の茶話会では、現場の困りごとを聞き合っ、互いの参考にしたり、卒業生仲間の近況や、新たな出会いが生まれました。互いの話は尽きず、楽しい時間を過ごしました。



◆◆◆1日で学ぶ園長・主任・事務長のためのマネジメント講習会 報告◆◆◆

2019年9月28日(土)9:30~16:30 開催 東京YWCA 会館217室

研修内容

- 講演 「保育園—そこは命の輝きを育むところ」 講師 遠藤 久江氏
 講習 ・講義「マネジメントの基礎 講師 田島 誠一氏
 ~経営理念を基にチームを作る」
 ・グループディスカッション
 ・ケーススタディと発表

研修のねらい

子ども・子育てをめぐる環境が大きな転換点にさしかかっています。
 保育園には、社会の要請にこたえ
 保育の質の向上や、子育て問題をはじめとした
 地域課題に目を向けた働きが求められています。

そのためには、園長はじめ経営管理層の方々に、目指している保育を実現するため、これまで以上にマネジメント力（資源や人材を活かす働き）が求められます。

職員が各自の保育への志を実現し、継続して働き続けられて、時代のニーズを実現する保育園、地域において無くてはならない存在としての保育園の経営を目指し、その先頭に立ち、リーダーシップを発揮するための第一歩として、マネジメントの基礎を学びました。



「保育園は子ども、親そして保育者がそれぞれの課題に向き合って育ちあうところです。」と 遠藤講師は語ります。

研修参加者の自由意見・良かった点

- ・保育園の歴史等なかなか聞けない話を聞く事が出来て良かったです。
- ・マネジメントとしての考え、視点がとても分かりやすかったです。
- ・グループワークが出来たことが良かったです、もっと時間が欲しかったです。

課題への具体的な取り組みとして考えること

- ・職員との関係、働きやすい職場となるように今日の研修を生かしたいです。
- ・人材育成をしっかりとやっていき職員定着に繋げていきたいです。
- ・戦略と戦術について具体的に考えて取り組みたい。
- ・職員全体で子ども、家庭、地域を見られるようにしていきたい。
- ・課題を明確にし、その周りの背景を感じ話し合う時間をもつ。

当法人が仲介役となり会員同士の繋がりが実を結びました

◆◆◆ 明治大学アジア公費留学生を対象とした社会福祉施設（障害・高齢分野）見学ツアー報告 ◆◆◆

2019年10月20日（日）

会員の明治大学岡部卓教授より、授業の一環として実施する「社会福祉施設見学」の見学先についての相談を受け、団体会員であり、利用者のニーズに応え様々な実践に取り組んでいる横浜共生会をご紹介。横浜共生会では、当法人講師である西山、伊藤氏を中心に準備を整え完璧なプログラムの基、当日見学者を受け入れてくれました。NPO 理事長とスタッフも見学に同行させていただきました。

参加者 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科

公費留学生（ベトナム・フィリピン・カンボジア等行政職の方々）や大学院生（社会人）25名他。

見学先 横浜共生会の管轄事業所 横浜市内 45か所のうち 3事業所

横浜共生会が大事にしていること

- ① 利用者の希望に即応じる！
- ② できない理由を探さず、出来る方法を考える！
- ③ 現状に満足せず、必要なものを創り出す！
- ④ 協同する姿勢を大事にする！



職員の伊藤さんが共生会について説明。ほとんど留学生に溶け込んで。



新羽コミュニティハウスにて

横浜共生会 地域生活支援センター海について
横浜市における地域支援実践について
イントロダクション



樽町地域ケアプラザ
（高齢・地域）

- ・デイサービス
- ・地域活動の場所づくり、交流の場
- ・地域包括支援センター



しんよこはま地域活動ホーム
（障害・地域複合型）

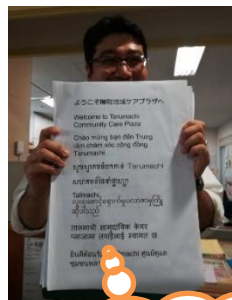
- ・地域生活のあらゆる相談に応じます。
- ・一時ケア・ショートステイ
- ・障害のある方の創作、調理などのプログラムや入浴サービス
- ・障害などの隔てのない乳幼児の遊び場



横浜らいず

（障害・日本初の身体障がい者療護施設）

- ・全国初の小規模ユニット制の身体障がいのある人の生活の場
- ・地域に暮らす障がいのある方のための日中の生活介護



学生の皆さんを多言語でお出迎え

見学ツアーに同行して

上記に掲げた「横浜共生会が大事にしていること」を各施設の様子、スタッフの生の声を通じて感じることができました。学生の方々が社会福祉の障がい・高齢分野のリアリティを感じ、福祉政策の学びをより深めることができたのではと期待します。（NPO スタッフ大庭）

見学後、通訳を交えながら熱心なQ&A。職員の方々が熱く答えました。



◆◆◆ 第3回・第4回「福祉のしゃべり場」実施報告 ◆◆◆

2019年7月27日 テーマ：喜びとストレス 参加者 10名

ケアカフェ方式を学びながら体験しました。

「顔の見える関係づくり 困っていることを相談できる場所づくり」を、田島理事長から学び、参加者を3つのグループに分け、全員と会話ができるように、場所を移動してゆく方法で開催しました！

互いの話を聴きながら、模造紙にキーワードやイメージする絵を自由にマシクで描く。グループを移動し、多くの人と話し、他グループとシェアすることで課題が深まっていくことから「ワールドカフェ」と呼びます。

体験を通して、顔を合わせて交流し、互いの理想や困りごとに耳を傾け、考えるヒントや共感を得て、自分の考えとは別の視点に出会い、課題を別の角度から考える機会となってゆくことが、期待できます。

2019年10月5日 テーマ：喜びとストレスPart2 参加者 13名

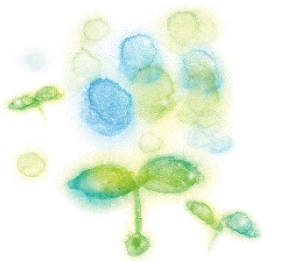
地域の中で開催したいとの意見があり、part2を開催しました。

初対面や人数の多いカフェでは、よき手引きとなりそうです。グループでの話し合いをもっと深めたいとの意見もありました。今後は、テーマや参加人数など状況により、「ケアカフェ方式」を活用してゆきたいと思います。

地域包括支援センター所属の参加者から、困難事例として挙がってくる支援は、長年の生活が積み重なって難しい問題に発展しているように思われる。自分たちも、できる時にできる整理をし決断をし、人生をあゆむことの大切さを、参加者の「それぞれの我が身」として振り返る時間にもなりました。



話を聴きながら模造紙に絵や文字でメモ！これが記録の代わりになる◎



参加者の声) ◎自由に話せる場所があるのは嬉しい。

◎福祉の学びのベースがない人と働くとき、自分の感覚で決めつけストレスを抱えるのではなく、相手を理解することや支援の方法など、自分が伝えていけるようになることが必要と感じます。

◎外国籍の方と働くとき意外な生活環境や価値のギャップを互いに感じる。伝え合わないと互いにストレスになることを感じている。これからの課題を共有でき参考になりました！

第5回 福祉のしゃべり場 予告 ~参加のお誘い~

日時 2020年2月22日（土）13:30~15:30

テーマ 「タッピングタッチを体験し、癒し合うことを感じてみよう」

「困りごと解決の方法を体験」

講師 柴田邦子さん（東京YWCA 専門学校ジュニアコース卒）

（会報18号で紹介） タッピングタッチ（互いをケアし合うホリスティックケア）手法を体験しよう

会場 東京YWCA 会館 217室

参加費 一般 200円（当日受付で支払い）

NPO 会員 無料

関心のある方どなたでも

どうぞ

